

—いのち、くらし、平和が大事！—

日本共産党京都市議会議員

山本 陽子 活動ニュース

VOL.43 2019年2月11日号

連絡先 日本共産党山科区生活相談所 山科区西野大手先町8-8 ☎595-8342

寒さが続きます。
インフルエンザに
ご注意ください！

山本陽子
山本陽子
山本陽子



「介護保険職員の雇い止めごめん！市は介護に責任をもて!!」集会

1 月25日に開かれた集会（雇い止めごめん！介護に責任をもて！市民の会・主催）に参加しました。

京都市は、介護保険の認定・給付業務の集約と民間委託化で130人の嘱託職を廃止しようとしています。2000年の介護保険制度の発足時から、要介護認定・給付業務に関わってきた嘱託職員は全市で130人、現在、各保健福祉センターで6人から17人、正規職員と同じ仕事をして働いています。

先行して民間委託をおこなった名古屋市職員の方が実施状況を報告され、業務の不慣れや連携の問題などから介護認定や給付の遅延トラブル等、市民生活に悪影響がでていることがわかりました。事業者や主治医との細かなやりとり、窓口相談で申請作業をサポートしてきた職員を解雇し、民間委託の郵送業務に切り替えるというのは大問題です。またここでも区役所職員の削減となります。コスト削減の名のもとに、行政責任を放棄するも同然！議会でも中止を求めます！

2月3日学区防災訓練に参加

今年度は全学区一斉に行われた学区防災訓練。居住する小野学区で地域委員として町内会の避難訓練に参加をしました。炊き出し、トイレ設置、避難グッズ、避難所環境について等、学習して回りました。

災害がおこっても、「テレビで見るような避難所環境になるのは1週間以上経ってから。最初は避難所にはほとんど何も無い。区役所、消防、警察も被災者。なかなか助けには来れない。住民でなんとかしなければならぬ」。そんなアナウンスが何回もされました。「でも、実際に災害が起こったら、どうすべきか、わからないよね」と参加者の方。それが住民の本音ではないでしょうか。アナウンスと本音の乖離を埋めていくのが行政の責任であると実感しました。



みやこめっせ大集会 (2/3) 統一地方選挙・参議院議員選挙へ決起！！



「私は共産党が大好きです！」「エイズ撲滅の運動を始めた20年前に、共産党さんだけが運動に応えてくれた」「LGBT等、性的少数者の権利擁護の運動も、政治を変える運動も一緒に！」と元気に連帯あいさつをされた、あかたちかこ氏(思春期アドバイザー)のお話に大きな励ましをいただきました。小池晃書記局長のお話も安倍政権の行き詰まりを喝破し、迫力満点でした。ぜひ、YouTubeの動画をご覧ください！

(👁️「日本共産党大演説会 2/1 小池晃書記局長の訴え」で検索)

ヨコ」の

ママチャリ

子育て日記

はねず踊りの稽古に付き添い



毎年三月の最終日曜に随心院で公演される小野小町と深草少将との恋物語(百夜通い)を題材にした『はねず踊り』は、地域の方々が伝承をもとに復活させた踊りで、地元の小学四、六年生の女の子が毎年半年間の練習を重ねて披露している踊りです。

私の住む地域では、このはねず踊り保存会ががんばっておられるので、うちの娘も今年から参加させていただいています。先生方は地域の方で、ボランティアで踊りや作法を教えてください。

週一回のお稽古は、簡単な着物を着て練習、正座をして待つなど、子どもにとっては決して楽しいことではないですが、学校で地域文化の学習をし、はねず踊りのいわれを保存会の方から学んで、地域の一員として文化を守っていく取り組みに参加をさせていただくのは良い経験になるのではと思っています。

今年の公演は、選挙の告示後となりますが、これまたお友達のお母さん方にお世話になり、なんとか娘も励まして、母子共になんばってやれるといいな、と思っています。

